

# 建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-13-7  
電話(03)3259-8711  
FAX(03)3259-8730  
©日刊建設通信新聞社 2017

## 技術高め信頼獲得

### 日本建設技術 研究成果発表会

日本建設技術(佐賀県唐津市、原裕社長)は8日、同市の唐津シーサイドホテルで、グループ会社による2017年度(第14回)研究成果発表会を開いた。古川康衆院議員や山下雄平参院議員、荒木宏之佐賀大低平地沿岸海域研究センター長ら来賓を含め約180人が参加し、企業間の競



争に勝ち抜き安定した会社経営を続けるため、今後も技術力の向上にまい進することを確認した。写真。

冒頭のあいさつで原社長は、「請け負った仕事に対し、高品質の成果品を納めることがわれわれの使命。そのす

ことで発注者の信頼度が高まる。持続可能な会社とするためにも技術力の向上に取り組みてもらいたい」と述べた。合わせて、技術力、営業力、社内コミュニケーションのバランスのとれたスマートな会社づくりを目指す考えも示した。

成果発表では、原社長が「16年度のあゆみと建設業と農林水産業の連携シンポジウムで発表して」と題して講演し、ミラクルソルによる有明海再生と間伐材利用の軟弱地盤対策の内容を報告した。建設&コンサルタント事業本部建設第2事業部建設第2グループ建設3課の石原誠太郎課長代理は、「集水井戸施工時の課題」について、深度57

の鬼ヶ鼻地区2号集水井戸の施工事例を紹介した。

講評した荒木センター長は、持続可能な会社づくりや技術力向上への取り組みを評価した上で、「努力は報われるのではなく、報われる努力をすべき」という考え方があ

る。目標を立てて荒波を乗り越える努力をすることが大事だ」と激励した。続いて、同社と精工コンサルタント、大和地研のグループ各社で大きな業務成果を上げた優秀技術者や功労者、工事評点優秀者、資格取得者の表彰式、新入社員の紹介が行われた。